



- 永代共養墓について
- ぶつぶつ雑記ブログ
- 真言宗について
- 金剛院イベント情報
- 金剛院 建築計画
- しいなまち・みとら
- 唱えてみよう!
- 仏教一年生
- 金剛院News
- メールを送る
- こんごういんキッズ!
- たいけんしてみよう!
- まんが小坊主くん!
- 金剛院について
- おすすめリンク集
- メディアで紹介
- 東京お寺めぐり
- ぶつムクイズ
- 金剛院の四季
- バックナンバー
- ほほほのれしび
- ふしぎな密教法具
- 地図・アクセス
- サイトマップ

 **検索**

## エッセイ 仏教一年生

- 第37回 [「智の器」としてのお寺の面白さ](#)
- 第36回 [日食メガネと雨男](#)
- 第35回 [東日本大震災一周年に想うこと](#)
- 第34回 [インドマジックで被災地に笑顔を「2」](#)
- 第33回 [インドマジックで被災地に笑顔を「1」](#)
- 第31回 [井戸の話](#)
- 第30回 [五筆和尚伝説](#)
- 第29回 [縁の下をささえる人々](#)
- 第28回 [日本人、最高!](#)
- 第27回 [人間と占い](#)
- 第26回 [空海さんの謎](#)
- 第25回 [私の知らない私](#)
- 第24回 [記憶と感情](#)
- 第23回 [美人病にかかる\(後編\)](#)
- 第22回 [美人病にかかる\(前編\)](#)
- 第21回 [四億年の引きこもり](#)
- 第20回 [年齢を隠したがる人たち](#)
- 第19回 [若い時の苦労は買ってでもしろ](#)
- 第18回 [子離れの季節](#)
- 第17回 [35年目の同窓会](#)
- 第16回 [不老不死のお酒](#)
- 第15回 [アンチエイジング](#)
- 第14回 [女子力不足](#)
- 第13回 [仏のレッスン](#)
- 第12回 [母と子をつなぐ道](#)
- 第11回 [座敷わらし](#)
- 第10回 [夢のお告げ](#)
- 第9回 [犬に引かれて](#)
- 第8回 [生まれ変わり](#)
- 第7回 [お葬式の意味](#)
- 第6回 [不思議なご縁](#)
- 第5回 [生きるための勇気](#)
- 第4回 [祖母の形見](#)

# 仏教一年生

山田真美・著



作家、日印芸術研究所言語センター長の山田真美さんの連載です。

[プロフィール紹介](#)

## 第17回 35年目の同窓会

BI 0 チェック いいね! 0 Tweet

月遅れのお盆で賑わう8月15日、故郷の長野市で行なわれた中学校の同窓会に出席してきました。1学年10クラスが一堂に会する、それは賑やかな同窓会でした。

卒業から数えて、今年でちょうど35年。

出席者のなかには、卒業以来、35年目にしようやく再会する人もいます。

「元気にしてた？」

「今はどこに住んでいるの？」

「お子さん、大きくなったでしょ」

そんなあたり障(さわ)りのない挨拶をかわすうちに、35年という時の壁はあっという間に取り払われて、髪の毛の薄くなりかけたオジサンは精悍な少年に、眼尻のシワが目立ちはじめたオバサンも華麗な少女に見えてくるから不思議です。

もちろん、それらはすべて大いなる錯覚に違いないのですが、「元同級生」というだけで、なぜか無条件に実年齢から10歳あるいはそれ以上、差っ引いて見ることができてしまう。これぞまさしく「同級生マジック」と言うべきでしょう。

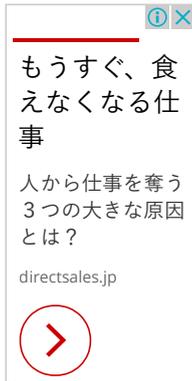
しかし、この日に限って言えば、同級生がみんな若々しく見えたのは単なる目の錯覚ではなかったかも知れません。

10クラスあったうち、私は5組の生徒だったのですが、同窓会に出席したクラスメートはひとり残らず、当時と変わらないか、むしろ以前より引き締まったボディラインで現われたではありませんか！

中年太り、いわゆるメタボ体形の人がゾロゾロやって来るのではないかと内心恐れていた私にとって、これは予想外の出来事でした。

中年っぽく見えるかどうか、その最大のポイントは体形が崩れているかどうかにあると思うのですが(髪の毛の問題なんて、その気になったらカツラなどで瞬時に隠せますからね)、うちのクラスメートたちは、ほとんど奇跡的と言って良いほど、むかしの体形を維持していました。太っていない分だけ、さりげないオシャレも決まっています。

- [第3回 ありがとうの輪](#)
- [第2回 お釈迦さまのお顔](#)
- [第1回 算数と仏教](#)
- [仏教一年生 山田真美・著](#)



ステージの上では、そんじょそこの芸人さんよりトークの上手い男性幹事が、開会のあいさつで皆を笑わせはじめました。そのあいだに私はあらためてテーブルのまわりを見わたし、(1、2、3……)と出席者の人数を心のなかで数えてみました。

40人いた5組のクラスメートのうち、今日の出席者は14人。つまり、出席率は35パーセントです。

パッと見た感じ、もっとたくさんの人が出席しているように感じたのですが、数えてみると意外に少ない。実際的人数より多く感じたのは、集まったメンバーがクラスのなかでも特に賑やかで、おしゃべり上手な人ばかりだったせいかも知れません。

(意外と欠席者が多いんだ……)

ようやくそのことに気づいた私は、同窓会に来られなかった26人の顔を、あいうえお順に思い出してみました。思い出せない顔はひとつもなく、それどころか、ひとりひとりの仕草や笑い声までが、つい昨日のこのように生き生きとよみがえってきます。

(……できれば全員と再会したかったな)

今、この瞬間、欠席した26人はどこで何をしているのか。名簿に「住所不明」と書かれた人のなかには、県下でもトップクラスの成績だった男の子や、生徒会の役員だった女の子の名前も混ざっていました。

当時は人気者だった人たちが、今は誰ともつながっていない。ここで「栄枯盛衰」という言葉を持ち出すのは場違いかも知れませんが、はっきりと「時の流れ」を感じました。

欠席者のなかには、単に時間の都合がつかなかった人もいるでしょうが、来たくないから来なかった、あるいは、来たくても来られなかった人もいることでしょう。

もっと言えば、今回出席した14人も、「たまたま体形が変わっていなかった」のではなく、「体形が変わっていなかったから出席できた」のかも知れません。

そういえば、あれは私がまだ小学生の頃だったでしょうか。誰かから、こんな言葉を贈られたことがあります。

「あなたが大人になったとき、どこに住んで、どんな仕事をしているか、それは今からでは想像もできません。でも、どこに住んでいても、どんな仕事をしていても、同窓会に出席できるような大人になってくださいね」

このアドバイスをくれた人が誰だったのか、それに対して自分がどんなリアクションをしたのか、今となっては思い出すことができません。ただ、この言葉を贈られたとき、(同窓会なんて、ふつうに暮らしていれば誰だって出席できるものじゃない。それなのに、このオジさんは、どうしてそんなあたりまえのことをマジメな顔で言うのだろう) と思い、幼い私はそっと首を傾げたような気がします。

実際、同窓会の「ほんとうの」意味なんて、人生をスタートしたばかりの小学生にわかるはずありません。けれども、すっかり大人になって、そろそろ「生誕半世紀」を迎えようとしている今の私には、よくわかります。

卒業からの何十年を「ふつう」に暮らし、「ふつう」に同窓会に出席できるということが、どんなに「特別」かということ。

「元気にしてた?」「今はどこに住んでいるの?」「お子さん、大きくなったでしょ」という何気ない挨拶を交わせることが、実はとてつもなく「特別」で「幸運」なのだということ。

同窓会に出席するためには、元気でこの世に生きていなければなりません。あたりまえのことですが、実際には、これがなかなか難しい。

また、同窓会に出席するためには、ある程度の金銭的余裕も必要です。当日は会費を支払わなければなりませんし、遠くに住んでいる場合は旅費も必要です。着てゆく物や髪型にも、それなりに気を使うでしょう。

さらに、むかしの同級生から「いま何しているの？」と聞かれたとき、胸を張って答えられる生活をしていることも、出席の条件のひとつでしょう。

偉くなっている必要はさらさらありませんが、とはいえ、同級生から「おまえ、そんなに落ちぶれちゃったのか……」と思われぬ程度の暮らしを維持していないことには、同窓会へ行く気分にはならないでしょう。

「同窓会に出席できるような大人になってください」とアドバイスしてくれた大人のかたへ。あなたの言葉の重みを、卒業35年目にして、しみじみと感じています。

≪ [第16回 不老不死のお酒](#) [第18回 子離れの季節](#) ≫

## 山田 真美（やまだ・まみ） プロフィール紹介

作家、日印芸術研究所言語センター長。密教学修士（高野山大学）。現在、お茶の水女子大学大学院博士課程後期在学中。1960年長野市生まれ。明治学院大学卒業後、ニュー・サウス・ウェールズ大学（豪）でマッコウクジラの回遊を研究。その後インド政府の招聘でヒンドゥー神話を調査研究。1996年より6年間ニューデリー在住。

主な著書にダライ・ラマ法王へのインタビューも収録した『死との対話』、ベストセラーとなった『ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦』など。

訳書に第二次世界大戦の秘史を扱った『生きて虜囚の辱めを受けず』。

長年にわたりインドを日本に紹介してきた功績を認められ2007年、インド国立文学アカデミーより世界で3人目となるドクター・アーナンダ・クマラスワミ・フェローシップを受ける。

財団法人日印協会理事。日本文化デザインフォーラム、日本蜘蛛学会、宇宙作家クラブ会員。国立天文台広報普及委員会委員。



山田真美 公式ホームページ: <http://www.yamadamami.com/>

統合運用管理を効率的に

必要なものを導入、柔軟でカスタム可能なマネージド・サービス/IBM [ibm.com](http://ibm.com)へ進む



▲このページの先頭へ



[永代供養墓 密厳霊塔](#)  
[しいなまちみとら](#)  
[こんごういんキッズ](#)  
[メディアで紹介](#)

[ぶつぶつ雑記ブログ](#)  
[唱えてみよう!](#)  
[たいけんしてみよう!](#)

[真言宗について](#)  
[仏教いちねんせい](#)  
[まんが 小坊主くん!](#)

[金剛院イベント情報](#)  
[金剛院News](#)  
[金剛院について](#)

[メールを送る](#)  
[おすすめリンク集](#)  
[バックナンバー](#)  
[サイトマップ](#)

## 外壁塗装の適正相場っていくくら？

利用者の93%が【安くなった】と回答。あなたの街の適正価格／5秒でチェック！ [gaiheki.yeay.jp](http://gaiheki.yeay.jp)へ進む

